

平成22年度 事業報告 (平成22年4月1日～23年3月31日)

財団法人東海検診センター

事業は当然ながら、寄付行為第4条に基づいて次の項目について行っている。

1. 法令並びにこれに準じた各種健康診断
2. 疾病予防、健康増進等のために行う「心とからだの健康づくり運動」
(トータルヘルスプロモーション)
3. 職業性疾病のための作業環境測定並びに作業環境の維持管理に関する指導
4. 労働環境管理のための作業環境測定並びに作業環境の維持管理に関する指導
5. 各種講演会、研究会等労働衛生思想の普及高揚
6. その他の事業

以上の項目であるが、更に静岡労働局等の運営方針等を踏まえ実施した。

1, 健康診断

① 定期健康診断

雇入れ時健康診断及び定期健康診断においては、前年に比べ微増状態となりましたが生活習慣病健診と連動して特定健診が1700名ほど増加しております。22年度も内臓脂肪の蓄積度及び脂質代謝における動脈硬化、糖の代謝における糖尿病、肝臓疾患、心臓疾患等の発見を重点に健診を実施してきました87,000人の実績を残すことができました。

② 特殊健康診断

平成22年度の延べ実施人数は21,000人余りで有機溶剤7,400人、じん肺1,950人、騒音3,300人、石綿1,000人と前年と比べると有機溶剤が増加しておりますが、じん肺と騒音と石綿が減少しております。全体的には前年と同様で横ばい状態となりました。

③ 人間ドック

生活のゆがみの蓄積における、高血圧、心臓疾患、糖代謝異常および脂質代謝異常、がん検診を主に、総合的検査において病気の早期発見と予防に役立てるように実施してきました。22年度実施した日帰りドックの実施人員は1,083人であり、前年より減少しております。

④ 生活習慣病健診

22年度は全国健康保険協会管掌健康保険の生活習慣病予防健診への呼びかけを重点に受診者数10%増を目指してきました。血糖検査における食事無しの時間帯指定等があり希望する時間帯等についての対応力を上昇させた結果、生活習慣病健診の受診者が大幅に増加しました。

2, 労災特別加入委託健診

平成22年度の実人数は36名、実施内容としては累計で有機15名、じん肺19名、振動18名となりました。

3, 健康測定(THP)

22年度は政府の事業仕分けの影響もあり中災防の方針も変更があったため実質の取扱いは0件となりました。国の方針が決定次第、事業を展開する予定になります。

4, 作業環境測定

労働安全衛生法第65条に定める作業環境測定その他、指針又はガイドラインに基づく作業環境測定を行っています。労働衛生上の質問に対する回答や作業環境改善の要点等の指導を重点に行いました。

実施件数の年間割合は、有機溶剤48.9%、粉じん37.4%、特化則4.9%、騒音6.3%、金属2.5%となりました。

5, 精度管理

X線写真の精度管理及び血液検査の精度管理等は、信頼される健診機関になるためには絶対的必要条件であり、全衛連主催の精度管理に参加しました。

精度管理における評価も好成績を得、信頼できる精度管理に努め又内部精度管理委員会においても精度向上のために努力しております。

6, 産業医活動

22年度の巡回指導の実施状況は、産業医62事業所、89回、保健師による指導は18回、保健指導人数は173名で主に個人指導を実施してきました。

以上